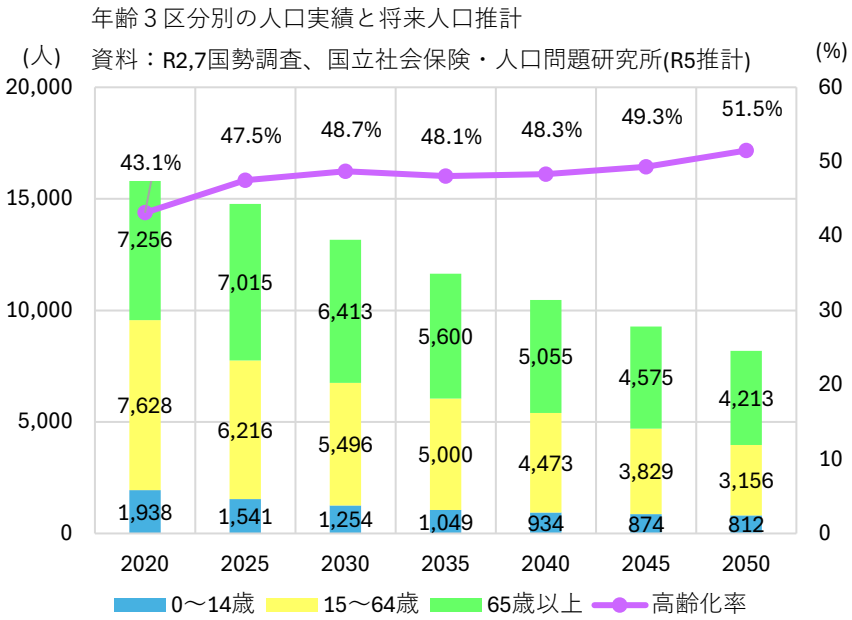
人口の推移と見通し

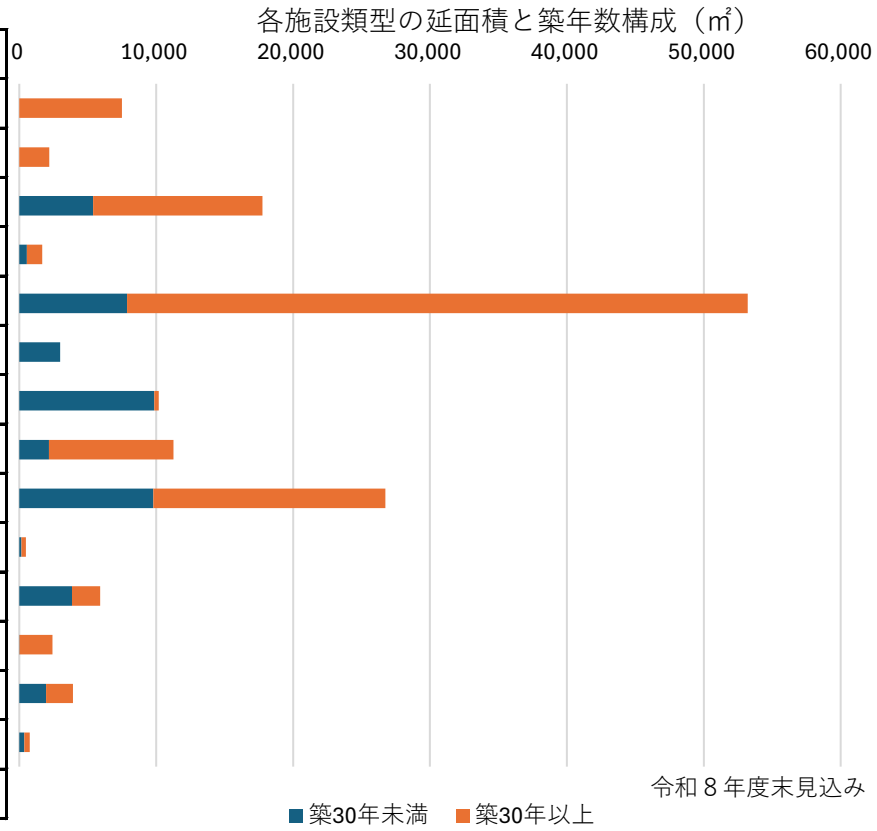


国勢調査によると、令和２年から令和７年にかけて、本市の人口は約2,000人の減少が見られました。生産年齢人口では約1,400人減少しました。

令和５年度に公表された国立社会保険・人口問題研究所の将来人口推計によると、本市の人口減少は今後も続き、2050年には2020年の約半分の人口になることが予測されています。あわせて、高齢化率も50%を超え、生産年齢人口も2020年の半数以下になると考えられています。

公共施設の整備状況

番号	施設項目	施設数	棟数
1	市民文化系施設	5	5
2	社会教育系施設	4	8
3	スポーツ・レクリエーション系施設	20	58
4	産業系施設	3	3
5	学校教育系施設	22	188
6	保健・福祉施設	2	2
7	医療施設	4	5
8	行政系施設	54	57
9	公営住宅	13	95
10	公園	24	39
11	供給処理施設	3	14
12	その他	5	8
13	上水道施設	41	41
14	下水道施設	3	3
合計		203	526



串間市が保有する公共施設の延面積は約147,100㎡で、市民一人当たりの延面積は約9.4㎡となっています。これは全国の自治体における平均的な水準とされる約3.2㎡を大きく上回っており、本市は人口規模に対して多くの公共施設を保有している状況にあります。

また、公共施設の建築年数を見ると、築30年以上経過した建物が全体の約66%を占めています。特に、市の公共施設の中でも大きな面積を占める学校教育系施設では、約79%が築30年以上を経過しています。

一般的に、建物は築30年を超えると修繕や設備更新が必要となる機会が増えるため、維持管理に要する費用も大きくなる傾向があります。本市では、多くの施設を保有していることに加え、建築後長い期間が経過した施設も多いことから、今後はこれらの施設を安全かつ適切に維持していくための対応が重要となります。

将来にわたって必要な公共サービスを安定して提供していくため、施設の利用状況や建物の状態などを踏まえながら、計画的な維持管理や更新について検討していく必要があります。